



「日本ミツバチの恩恵」

にしばやし とし お

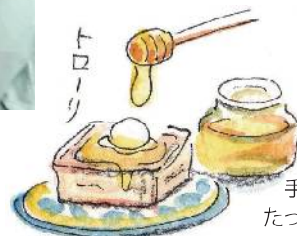
西林 登志夫 さん

宇治

今では大変貴重なニホンミツバチのはちみつを採集されている西林さん。幼い頃から先代がやっていた姿を見て、今でも続けています。ご自宅にはチャボや金魚や牛などがいて、動物愛好家でもあります。

春になると蜂を巣箱に誘導して巣を作らせます。採集に使う道具は何度も試行錯誤して、自作しています。全ての工程を手作業で行い、純度100%のはちみつができあがります。涼しくなるとはちみつが固まって絞りにくくなるそうですが、夕方蜂の活動が落ち着いてから作業します。西林さんは免疫ができていて、蜂に刺されてもちょっとかゆいくらいと言われていて驚きました！（※刺されたら針が残るので、しっかりとりましょう。）

ニホンミツバチは西洋蜂と違い、毎年花粉で自分たちの巣を作ります。西林さんは、一度に全ての蜜をとってしまわないで、一段だけ冬越し用として残します。採集時に自分の蜜におぼれてしまった蜂もお互いの羽をなめ合い、最後は飛んでいけるそうです。



奥さんの
手作りかぼちゃパンと
たっぷりはちみつ。